2021年12月9日　笑顔の家づくり新聞

Smile
笑顔の家づくり

発元日
2021年12月9日

建築士にはたくさんの技術が必要！

建築士の仕事について調べてみた！

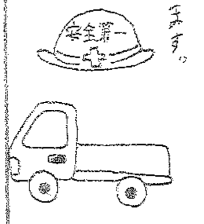
今回宮寺さんの話を伺って、建築士の仕事内容を初めて知り、その多さに驚いた。その仕事内容とは、まず客から依頼をうけ、建物を建てるためのヒアリング特定の事案に関し、利害関係者や一般の意見を聞くことをし、その後イメージを形にする作業を行い、それがおわったら実際の施工（建築物などを作り上げること）につなげ、工事が終わったら、引渡しとなる。その他にも現場での指揮や、調査など、それらを含める建築物の点検をすることが仕事内容である。私が知っているのは、これが全てであり、もしかしたらこれ以上仕事があるかもしれなく、それをこなすとなるととても大変ですよね。しかも、天候や材料でも、難易度が変わるというのに、あれだけ上手く造れるのは、実践経験が豊富で様々な技術を自身に付けているからこそ出来ることなんだと感じる。また、客から依頼を受ける時や、現場での指揮をする際に、コミュニケーションをとり円滑に話を進めるということが必要になる。だから建築士には、コミュニケーション能力も、必要なことだ、と印象に残った。

Assist home

建築士の車の運転

職業インタビューで宮寺さんの話を聞いて気になることがありました。それは、建築士が狭い場所でも車を上手に運転できるということです。細い道でもスイスイとバックすることができます。建築士という職業は、建物を建てる仕事を想像していましたが、とても運転になれているということを知りました。

ぼくは車の運転免許を高校卒業時に取ろうと思っています。車の運転技術はほかの仕事にも使えて便利だと思うので、車の免許を取るときは、細かい技術を身につけられるようにしっかりやろうと思います。



アシストホームのQ&A

Q工事中に一番気を付けていること

A大きなケガをしない。昔は、足場をかけずに屋根などに登り起きた事故もあった。今は、小さな工事でも足場をかけて、ケガを防止している!!

Q今までで一番大変だった仕事

A若い頃。建築士になったばかりの頃に変わりに引き受けた現場監督の仕事。言葉の裏に隠された背景を読み取るのが難しく、負担がかかっていた。今では、お客様の要望をしっかり理解し、言葉の裏を読み取り、より良い提案ができるように心がけている。

Q場所や天候によって工事のしやすさは変わるのか

A変わる。資材が運びやすいか、車を横づけできるかなどによってコストが変わる。高低差の大きい土地になると、資材の運搬が大変になるため、交通の便はとても大切。また、天気が良すぎると、コンクリートが早く固まり過ぎて、割れてしまうため、水をうつなどから作業する。

建築についてもっと関心を

ところで皆さん、建築について興味を持った事がありますか？今回職業インタビューでおこしいただいた、建築家の宮寺先生に教えてもらった言葉がたくさんあります。そんな中で僕の心に残った事を話します。

僕の心に残った事は仕事の時の道具です。道具の中で僕が気になったのはピアノ線です。何にピアノ線を使うかというと、コンクリートのひび割れに使うと聞いてとても勉強になりました。

感想

アシストホームさんはお客さんの事を第一に考え、お客さんの要望一つ一つ答えており、家族の住みやすさ、快適な暮らしをつねに考え、お客さんが満足する家作りをしていました。宮寺さんは、ドラえもんのポケットみたいに道具をたくさん見せてくれ、おもしろかったなと思いました。仕事の時の息ぬきには、YouTubeを見るという答えが意外でした。この職業につこうと思ったのは、地元に貢献しようという思いがあって、最終的には大学に入る前に決めたそうです。しかし、親父は浮き沈みが激しいから孫にはやらせたくなかったそうです。それでも、宮寺さんはこの職業について活躍されていてすごいと感動しました。